

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会
第4回ワーキンググループ 議事概要（交通処理編）

日 時 令和3年12月1日（水）14:00～16:30
会 場 仙都会館8階会議室
議 題 交通処理編：社会実験の実施パターンについて
配布資料 次第

【資料2】青葉通駅前エリアのあり方検討協議 第4回ワーキンググループ（交通処理編）

1. 交通処理検討のこれまでの整理と今後の流れ
2. 社会実験に向けた交通シミュレーションの検証ケース
3. 交通シミュレーションの設定条件
4. 現況再現性の検証
5. 交通シミュレーションによる検証結果
6. 社会実験の実施パターンについての検討

○主な意見等

【交通処理編】

- ・今回の社会実験では車線を歩道化するだけでなく、スローモビリティ等の人を外に動かすような仕組みも導入することは考えているのか。
- ・社会実験案2について、南北で歩道幅に差異がある案になっているが、当該案での社会実験を経てよい結果が得られた場合には、このままの幅員構成で検討を進めていくのか。
- ・1つの道路では両側の歩道幅は同一であることが原則と考えているが、必ずしもそうである必要はないのか。
- ・両側の商業施設の立地数が同様であるならば、人はより歩きやすい側の歩道を選択すると考えられるので、歩道幅が異なることで公平性を損なう可能性はないのか。
- ・トランジットモール化案での社会実験の目的を再度確認したい。
- ・社会実験に際して実施する調査の内容はどこまで検討されているのか。
- ・利活用面からの検証と交通処理面からの検証と2つある。それぞれ内容が具体化した段階で調査項目を示していただきたい。
- ・まちづくりとバスの融合によって交通結節点としての利便性向上もできればよい。
- ・整備によって創出した空間を活用した計画は検討されているのか。
- ・社会実験の実施パターンについては、本日決定する形になるのか。
- ・バスと自転車の共生は重要であると考える一方で、バスの運行にあたっては車両付近を自転車が走行している状況で危険を感じることもある。当該区間のみ自転車は走行禁止とし、歩道を押し歩きにする等、自転車の走行について議論していただきたい。
- ・社会実験での実施パターンを決定するにあたっての空間の活用方法については仙台市の

方で考えるのか。

- 両側に空間を創出して利活用をした方がよいのか、あるいは片側により大きな空間を創出して利活用をした方がよいのかというような検討も必要ではないかと考える。
- 1ヶ月の社会実験の中では社会実験案1と案2の双方を実施することは困難であるので、利活用の視点ではどちらの案でやるのが望ましいのかという意見も伺いたい。
- 青葉通は道路としての機能がメインであり、賑わい創出のために道路機能を損なって市民の利便性を損なうことは避けていただきたい。
- 青葉通の車線が減少することは、市民にとっては賑わい創出の利点より道路機能が損なわれることの不便さの方が大きいのではないかと考える。
- 旧さくら野側と EDEN 側とで沿道の開発計画の現状について教えていただきたい。それぞれが現状のままでいくのか、開発されるのかによって今後の青葉通は大きく変わっていくのではないかと考えている。
- バスにとっては自転車の存在は大きな懸念点である。例えば泉中央駅ではバス乗降客と自転車とが交錯する等、安全上の課題を感じている。こうしたことを踏まえて、バスと自転車との棲み分けが必要と考えている。
- 社会実験案2について、シミュレーションではバスの発着や利用客の乗降の時間まで考慮しているのか。
- 現在はバスを増便・復便しておりコロナ前の運行状況に近付きつつある。また、イベント等にあわせて臨時便を運行することもある。そうした中で、発着を1本化させた際に影響はないのか懸念している。仮にバスの発着をさばけたとしても、乗車待ちの利用客と降車する利用客とが交錯や、運転手の労働時間への影響等が心配される。
- 仙台駅西口のバスの乗降環境が定まりきっておらず様々な不確定要素があり、何を指すべきかをはっきりさせることが難しい中での社会実験においては、利用客に迷惑をかけることが最優先になる。このために具体的にどうしていくかについては事務局と相談させていただきながら進めていきたい。
- 交通事業者の負担を考慮した案としていただき感謝する。社会実験を踏まえて将来的に広場化や利活用の方法をどのようにしていくかについては、交通事業者にとって経路変更やバスの運用、回送等について十分な事前の調整が必要になるため、長いスパンで検討できるような時間的な猶予を与えてほしい。
- 社会実験案2について、北側にバス停を集約することでバスが密になってくるが、例えばバスが先詰まりをする等で他の路線に影響を与えることはなかったのか。
- 社会実験を10月に設定した理由と、来年度の定禅寺通の方での社会実験をいつ頃実施予定かについて教えていただきたい。

以上